

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

中学校グローバルチャレンジ事業

事業の経過・背景・課題

平成24年、町立中学校とオーストラリアのメイトランド市にあるオール・セント・カレッジ・セント・ジョセフ・キャンパスが姉妹校となる。姉妹校交流として、平成25年に生徒9名を派遣、平成26年に姉妹校生徒10名を受け入れ、以降、隔年で生徒派遣と生徒受入を行っている。（令和2年度から令和4年度は中止）事業の発展を図るため英語検定受験機会をさらに充実させ、英語力の充実を図ることが必要になってきている。

取組内容

交付実績額： 834 千円

- ・9/26～10/3にホスト校生徒12名と教員3名をオーストラリアから受け入れる。
- ・姉妹校生徒は井手町内でのホームステイ、泉ヶ丘中学校の授業等への参加、ホストファミリーとの交流、日本の伝統文化等の視察研修などを行う。
- ・学校では、泉ヶ丘中学校生徒を対象にオーストラリアの文化についての事前学習会や姉妹校交流の準備などを行っている。
- ・海外派遣事業の成果の普及として、報告書作成、写真や映像と合わせての資料展示や町文化祭での報告会の開催などを予定。
- ・生徒全員がペンフレンドとの交流を行ったり、校内に国際交流展示コーナーを設置するなど、学校全体の国際理解教育を充実を図る。
- ・英語検定の受験料を補助し、受験機会を増やすことにより国際社会への対応の基盤となる英語力を向上させることを目指す。



事業の成果・今後の展望等

- ・姉妹校との交流を通して、語学力の向上と異文化への理解を深めるとともに、自国や故郷の文化を理解するなど、国際的な視野を持った生徒の育成を図ることができた。
- ・英語検定の受験により英語力を高め、異文化コミュニケーションの力を向上させることができた。
- ・引き続き、姉妹校との交流を通して、語学力の向上と異文化への理解を深めるとともに、自国や故郷の文化を理解するなど、国際的な視野を持った生徒を育成していく。

問い合わせ先

井手町教育委員会学校教育課（0774-82-4333）

井手町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校図書館充実事業

事業の経過・背景・課題

本町では、これまでから文部科学省の定める学校図書館図書標準の達成、町図書館からの週4日の学校司書派遣、学校図書館ネットワークの構築など、学校図書館の整備を進めている。

また、「井手町調べる学習コンクール」に取り組み、児童・生徒の学びがより深いものとなるよう「調べ方ガイド」を作成するなど、学校図書館を利用した学習機会を提供している。

しかし、学校図書館への来館率、一人当たりの貸出冊数は減少している。このため、本事業によりさらなる図書の新陳代謝を図り、より利用される学校図書館を目指す。

取組内容

交付実績額： 415 千円

読書環境の充実

- ・司書教諭と学校司書だけでなく、児童・生徒による選書を行うなど、児童・生徒・教職員のニーズを明らかにし、それに対応できる図書の整備。
- ・学校図書館への来館率と児童生徒の一人当たりの年間貸出冊数の増を目指す。



事業の成果・今後の展望等

- ・本事業により約604冊の図書を整備。
- ・学校図書館への来館率20%
- ・児童一人当たりの年間貸出冊数52冊/人
- ・生徒一人当たりの年間貸出冊数15冊/人

今後は、一日当たりの来館率を全校平均25%、小学校の学校図書年間貸出数一人当たり50冊の維持、中学校の学校図書年間貸出数一人当たり20冊の目標を達成できるよう、取組を進めていきたい。

問い合わせ先

井手町教育委員会学校教育課（0774-82-4333）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

数検チャレンジ推進事業 (小学校5・6年生、中学校2・3年生)

事業の経過・背景・課題

児童生徒に算数・数学検定の受検機会を設け、検定合格という明確な目標を示すことで学習意欲の向上につなげ、本町の児童生徒のさらなる学力向上を図るため、町立小学校5年生は平成28年度、町立中学校2年生は平成31年度から、3年生は令和2年度から本事業を実施している。

小学校現場から6年生についても受検する機会と費用の補助についての要望があり、令和6年度から小学校6年生に事業の対象としている。

取組内容

交付実績額： 244 千円（小5、中2・3年生）

※セット新規：小6

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

〔算数・数学検定へのチャレンジ〕

- ・小学校5年生は算数検定8級を、小学校6年生は算数検定7級以上（5年生時に8級を取得していない児童は8級）を、中学校2・3年生は数学検定4級以上の合格を目指す。
- ・授業内だけでなく放課後などを活用して、合格に向けての支援を実施
- ・小学校5年生の算数検定8級取得率90%、小学校6年生の算数検定7級以上取得率60%、中学校3年生の数学検定4級以上取得率50%を目指す。

【実施スケジュール】

- ・第1回 令和6年4月：小学校5年生受検（4/26）
- ・第2回 令和6年6月：中学校3年生受検（6/8）
- ・第3回 令和6年11月：小学校5年生受検（11/8）
- ・第4回 令和6年11月：中学校3年生受検（11/15）
- ・第5回 令和6年11月：小学校6年生受検（11/18）
- ・第6回 令和7年2月：小学校6年生・中学校2年生受検（2/14）



事業の成果・今後の展望等

本事業によりのべ106名が算数数学検定を受検。

- ・小学校5年生の算数検定8級取得率88.3%
- ・小学校6年生の算数検定7級以上取得率52.9%
- ・中学校3年生の数学検定4級以上取得率30.6%

児童生徒は検定合格に向け頑張り、学校は学習の支援を行いながら取組を進めたことで、学力向上のよい機会となった。

令和7年度も、本年度と同様に事業を実施

小学校5年生の算数検定8級取得率90%、小学校6年生の算数検定7級以上取得率60%、中学校3年生の数学検定4級以上取得率50%を達成できるよう取組を進めていく。